

基本方針

国内景気は持ち直しの動きが見られますが、県内では、新型コロナウイルス・オミクロン株による感染の急拡大に対する警戒感から、令和4年初から利用者において催事開催を中止する動きが顕著となっており、本財団を取り巻く今後の経営環境は、依然として厳しい状況が続くものと考えております。

一方で、令和6年春の北陸新幹線県内開業に向け、現在、まちづくりや観光誘客などをはじめ、官民一体となった様々な取組が県下で加速しています。

こうした経済社会環境の動きの中、当財団としては、感染対策に万全を期した上で、顧客ニーズに応じた両施設の利用方法等について提案型営業活動を積極果敢に展開し、催事の複数回利用や新たな顧客の掘り起こしにつなげるとともに、地元の行政・経済界と連携した自主企画事業を行いながら、元気な産業の振興と地域の活性化の寄与に努めてまいります。

施設運営では、利用される皆様との距離感を縮め、様々なご意見・ご要望を丁寧に取り上げながら、まずは安全・安心・快適にご利用いただき、顧客満足度を最大限に高めることができるよう、施設の適切な維持管理や設備・備品の充足・更新に努めてまいります。

I 福井県産業会館・福井県産業振興施設（サンドーム福井）の管理運営事業

1 両施設共通項目

(1) 営業活動

コロナ禍で減少した催事の再開要請、過去に実績のある利用者への営業、新幹線開業に伴う新たな催事の誘致を中心に、顧客満足度の向上を第一として積極果敢な営業活動を進めます。

- ・営業戦略局を中心に全員が営業マンであることの自覚を持ち、施設設備の効率的な稼働を念頭に、顧客ニーズを十分に把握し、適切な利用方法の提案、サポートを行います。
- ・重要なリピーターに対する積極的な訪問活動や情報交換の実施、リピーターはもとより全ての新規利用者に対し、継続的な利用を働きかけます。
- ・メディアやイベント企画会社をはじめ、各種媒体からの情報収集により、新たなプロモーターや展示会等の開拓に努めます。
- ・各種試験会場や就職相談会場など、今後の利用拡大や新たな利用先が見込まれる催事の開拓に努めます。

(2) 施設の維持管理

「施設が商品」という認識のもと、経年劣化に伴う建物の機能低下を最小限度に抑制するため、各施設の修繕・更新の時期を調整し、経費の平準化を図りながら、修繕・更新を予防的・計画的に行います。

- ・直営で可能な業務は極力直営化を図り、委託業務内容は利用頻度を考慮した仕様書に見直すとともに、総合管理業務等は両施設一括契約を継続します。
- ・使い勝手の良さの維持、安全・安心の確保、環境美化等に向け、小まめな不良箇所の点検・補修を実施します。
- ・昨年来、原油・原材料価格の高騰が続く中、所定の利用料金のもとで顧客サービスを極力維持できるよう、「ふくいSDGs パートナー企業」への登録と合わせ、LED照明の導入やデマンド監視装置を利用した消費電力量の監視の徹底を図り、光熱水費や燃料費など各種経費の節減に努めていきます。

(3) 情報発信力の強化

HPについては、11年ぶりに全面更新を予定しており、その時期は、令和5年1月を目途にしております。内容としては、施設利用を検討している方々に対し、新機能として360°ビュー化による屋内施設の紹介をはじめ、午前・午後の利用区分を新たに見える化した施設毎の予約状況、料金試算機能の付加など、利用者の目線に立った内容に変更し、SNSとの連携を図るなど、情報発信力を強化してまいります。

(4) 産業観光の情報提供

福井県、デザインセンター、県観光連盟、県物産協会、県内企業等と連携した取組を両施設で実施します。

- ・新幹線開業に向け、新たに制作されるポスターやパンフレット、PR動画などを中心に県内の観光情報を提供します。
- ・県内市町の観光ポスターの定期的な掲示や県内物産品の紹介を継続して実施します。
- ・各種催事の機会において、物販を通しての県産品の全国発信をはじめ、県内企業や工芸産地の新たな取組の紹介および工芸品の展示を実施します。

(5) 職員の育成等

職員の営業力向上のために職場研修会の開催を継続するほか、施設運営業務に不可欠な有資格者を計画的に増やしていくとともに、施設間・業務間の配置転換を進め、組織の柔軟性の向上を目指していきます。また、職員の安全と健康を確保するため、関係機関と連携し、必要な措置を講じます。

- ・冬期間の迅速な除雪に対応するため、大型特殊免許、大型作業免許等の有資格者を計画的に充足していきます。
- ・職員の健康増進を図るために、全国健康保険協会と連携し、「健康づくり宣言」の実践事業所として、特定保健指導利用のほか、日々のラジオ体操の実施や全職員を対象にした生活習慣病予防講習会、メンタルヘルス研修会の開催等を通じて、「健康経営」の推進につなげてまいります。

(6) 税制改正を踏まえた対応

令和5年10月からのインボイス制度（適格請求書等保存方式）の開始や令和5年末までの経過措置が講じられた改正電子帳簿保存法の施行に的確に対応するため、その受入れのための必要な準備を遅れることなく進めていきます。

2 個別施設の状況

(1) 福井県産業会館

ア 利用目標

コロナウイルス感染症の影響が依然として残る中、県内随一の広いスペースを有する展示場の長をを活かす営業を粘り強く継続し、40年以上にわたる実績と信用力を強みに、催事の誘致に努め、利用促進につなげてまいります。

特に、県内最大の市場を抱える福井市に位置している、良好な立地環境をセールスポイントとして営業力を強化し、比較的利用が少ない福井市外や県外の顧客の掘り起こしにつなげられるよう努めます。

また、顧客ニーズに応じて屋外広告塔の催事告知掲示期間の延長やwifi設備の積極的な活用を提案し、収益の上積みにつなげられるよう努めます。

しかしながら、感染拡大の影響による下振れリスクなども考えられることから、当面は前期並みの利用日数を目指し、事業収益を確保していきます。

（目 標）

- ・利用日数 1号館展示場・・・ 210日（令和3年度見込 205日）
2号館展示場・・・ 190日（令和3年度見込 186日）
本館展示場・・・ 100日（令和3年度見込 99日）
多目的ホール・・・ 145日（令和3年度見込 142日）

- ・事業収益 112,000千円^[利用料金改定を反映]（令和3年度見込 106,294千円）

イ 施設等の管理

今期は、本館および1号館は開館から42年、2号館は35年を迎えております。継続して安全・安心・快適にご利用いただけるよう、法令に基づく定期点検はもとより、施設の長寿命化対策も視野に入れた、次のような修繕・更新を計画的に進めます。

（主な修繕工事等）

- ・受変電設備内部（高圧設備）更新工事（5,600千円）[8月完了]
- ・本館・2号館冷温水発生機部分的オーバーホール（5,400千円）[10月完了]
- ・本館・1号館屋外防水シート修繕工事（4,600千円）[7月完了]
- ・屋外広告塔の補強工事（1,700千円）[6月完了]

ウ 情報発信

HPについては、利用者との意思疎通を図りながら、イベントスケジュールの発信を継続します。これと連携して催事中のSNS投稿を行い、時間毎の「入場具合」や「にぎわい」を発信し、ご来館しやすい環境づくりに努めます。

(2) サンドーム福井

ア 利用目標

新型コロナウイルス感染症の影響の継続が見込まれる中、大規模施設であることの特長を訴求することにより、コンサート、大型イベントの需要を取り込むとともに、短期・平日の利用について研究・提案するなど新規顧客の開拓等を行い、前期並みの利用と事業収入の確保に努めます。また、2年後に控えた北陸新幹線敦賀開業に伴う新たなイベントの誘致に努めます。

《目 標》

- ・利用日数 イベントホール・・・ 160日（令和3年度見込 157日）
小ホール・・・ 130日（令和3年度見込 125日）
- ・事業収入 172,000千円（令和3年度見込 172,085千円）

イ 施設等の管理

安全・安心な利用に向け、法令に基づく定期点検、設備・備品の定期的な更新、施設の長寿命化・老朽化に伴う小規模な修繕工事などを的確に実施し、適切な維持管理に努めます。

また、施設の安定的な稼働に関わるものの、指定管理者では実施できない大規模な設備修繕が適切に実施されるよう、県への迅速な情報提供を行います。

(主な修繕工事等)

- ・照明LED化（2,500千円）
- ・屋外広場、駐車場修繕工事（1,000千円）
- ・電気、空調、可動席、消防各設備修繕（2,000千円）

ウ 自主企画事業

新型コロナウイルス感染症の状況に留意の上、関係機関の動向、ニーズなども十分に踏まえ、状況に適した開催内容等を検討し、実施します。

「おもしろフェスタ in サンドーム福井 2022」 開催期日：8月予定

「はぴりゅうフェスタ in サンドーム福井 2022」 開催期日：12月予定
(県スポーツ課と調整)

「お楽しみフェスタ in サンドーム福井 2022」 開催期日：前年度延期案件のため、早期実施を検討

エ 情報発信

引き続きHPやSNSを通じて、来場者のニーズを踏まえ、駐車場や天候、交通機関などの情報とともに、手荷物預かり所やグルメ、観光などのお役立ち情報の提供に努めます。